広報 Ibaraki Public Information
いばらき
2020年（令和２年）
２月１日　発行
2
No.1006
February 2020

◆編集・発行
茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029－292－1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口
住民基本台帳
令和元年12月末現在
男　16,267人
女　16,171人
総人口　32,438人
世帯数　13,280世帯

◆茨城町民憲章
1　ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
1　からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
1　隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
1　自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
1　文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花　桜
◆町の木　梅
◆町の鳥　ウグイス

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎0800－800－8848
（通話料無料）

◆町の情報発信中!!
●町公式ホームページ
http://www.town.ibaraki.lg.jp/
●町公式ツイッター
https://twitter.com/IbarakiTownMati/
●町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/

里山に育む生きものたち

No.90　コオリガモ
学名　*Clangula hyemalis*

写真・文　山口　萬壽美

▼冬鳥のスズメ目が減少

今冬の水辺の鳥たちは、スズガモをはじめ、順調な渡りをしているようですが、スズメ目の鳥たちが少なくなっているようです。例年であれば、10月になるとジョウビタキやアオジ等が飛来し、ムラサキシキブの美しい実などをきれいに食い尽くしますが、今年は紫色の実がたくさん残っていました。

▼主な特徴

大きさは、雄60㎝、雌38㎝で、雄は尖った長い尾を付け、世界的に美しい鳥とされています。雌には長い尾はありません。

雄は、頭部から頸は白く、目の周りは淡灰褐色です。頬、胸、背、腰、上尾筒、尾は黒褐色であり、夏季には、雌雄共に換羽するのが特徴です。雄は「アォ、アォナ」雌は「クワー」と鳴きます。

小さな群れを形成し、繁殖期にはツンドラ地帯の淡水池などに生息しています。

▼分布

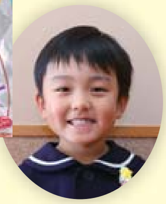
ユーラシア大陸北部、北アメリカ北部、グリーンランド等で繁殖します。イギリス北部や北海沿岸、カムチャッカ半島から中国東北部にかけての沿岸、アリューシャン列島から北アメリカ西海岸・東海岸北部等で越冬します。日本へは冬鳥として、北海道と東北地方北部に渡来します。

涸沼では、あまり見られませんが幸運にも、平成20年と21年の冬季に渡来したところを観察することができました。

▼ツンドラにも保育士がいる

コオリガモは、澄みきった海、魚類に恵まれたところに分布し、繁殖期以外に淡水の湖等に姿を現すことはないとされています。コオリガモは、群れの中で孵化や飼育に遅れた個体がいた場合、自己の渡りが遅れてしまうので、淡水の池の周りに子育て中の成鳥が残り、未成熟の鳥はそこへ残されていくといいます。後に残された成鳥は、未成熟の子を世話し、やがて成鳥になったとき、育ての親が魚介類がたくさん捕れる海まで連れてってくれるというとても面白い特徴があります。

ちびっ子アート　ウィステリアナーサリースクール



「みて！うれしかったはなび」
たかはし ごお（5歳）

「がんばったたまいれ」
かわさき ゆり（6歳）

再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています